躍進へ 九州大学OBの期待

九州大学は総合大学として、長い歴史の中で多様な人材を輩出してきた。その中でも企業の第一線で、産業を支える経済人は多い。そこで経営者として活躍する九州大OBに、学生時代の思い出を振り返ってもらうとともに、母校への熱い期待のメッセージを寄せてもらった。

九州大学特集 2014

B-Rサーティワンアイスクリーム会長
尾崎（おざき）　仙次（せんじ）氏

日本の国際的地位向上に貢献

1966年3月、九州大学法学部を受験するため、生まれて初めて福岡市を訪れました。天神交差点で路面電車を降りたとき見上げた天神ビルの高さに目を見張ったことが、今でも鮮明に思い出されます。

憧れの九州大学での学生生活では原子力空母エンタープライズの佐世保寄港や建設中の電算機センターへの米軍機ファントムの墜落などの事件に巻き込まれながら、学友・部友・寮友との交流を通じて、漠然としながらも自分自身の方向性やアイデンティティーを確立する事ができました。もし可能であれば、戻りたいのも、やり直したいのもまさにこの時代です。

サーティワンは「We make people happy」をモットーに、アイスクリームを通して消費者の皆さまにFun（楽しさと喜び）をお届けする専門店のフランチャイズ展開を行うアイスクリームチェーンですが、その店舗数は日本でも世界でも断トツのナンバーワンです。九州・沖縄では現在138店の店舗をショッピングセンターや繁華街、路面などに展開しておりますが、今後の課題は少子化やライフスタイルの変化、食生活の多様化などの環境変化に対応しビジネスを健全に成長させてゆくことです。

環境変化に適切に対応できない組織は衰退するしかありません。これは企業だけでなく、大学や国家さえも同じです。これからの九州大学が九州ナンバーワンの地位に甘んじるのではなく、中国・韓国を中心とした東アジアから東南アジア、そして世界との学術交流や学生の交流を通して、日本の国際的地位の向上に大きく貢献する。それによって、日本を代表する大学としての地位をより強固なものにしてゆくことを心から期待し、エールを送り続けたいと思います。

九州・沖縄では138店を展開（天神西通り店）

昭和鉄工社長
山本（やまもと）　駿一（しゅんいち）氏

地方の独立心で最先端の研究

1965年に経済学部を卒業しました。九州大学を選んだのは、国立で学費が安く、家から近かったから。社会のことを広く学べると思い、経済学部に入りました。

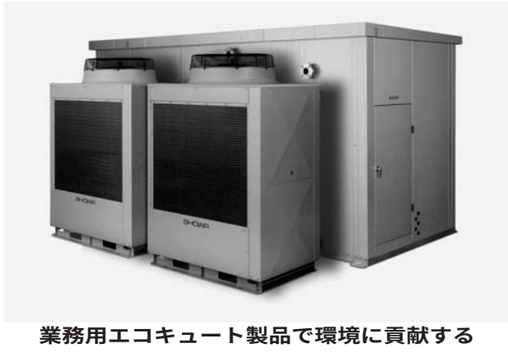
興味深かった授業は資本主義や社会主義についてのものです。当時は社会でもそれらに対する関心が高かった。授業が面白いユニークな先生がたくさんいました。校外に出て現場で学ぶことも多かった。農業経済では農家で仕事を手伝い、夜にいろいろな話を聞かせてもらいながら飲んだお酒が、とてもおいしかったことを覚えています。

授業以外にもいろいろな活動を楽しみました。クラブ活動では野球をし、それ以外ではワンダーフォーゲルのサークルを作りました。登ったのは九州や四国の山です。そのほかにも授業や食堂などで知り合った学生同士でグループを作って活動し、ゼミも仲間で作りました。

卒業要件は3年でほとんど満たし、4年になると歴史や化学など純粋に興味がある授業に出るようになりました。大学に残って研究者になる道に誘われたけれども、社会に出て外の世界を見たくて就職を選びました。先輩の紹介で入社したのが三井金属鉱業で海外に行くことができました。

昭和鉄工は、製品開発で九大の研究者の支援を受けたことがあります。熱工学や金属工学の分野の研究者でボイラの開発に繋がりました。現在、研究開発部門などで新卒や中途採用で入社した卒業生が活躍しています。

九州大学には、中央をものともしない独立心を持って、世界で最先端の研究に取り組んでほしいと思っています。



業務用エコキュート製品で環境に貢献する

ANAホールディングス社長
伊東（いとう）　信一郎（しんいちろう）氏

グローバル化進め 活力創造を

ゼミの教授をはじめ、たくさんの仲間や書物等に大いに刺激を受けた大学時代は、貧乏ながら大変充実した4年間でした。玉ネギたっぷりのミルクホールのカレーライスは「九大の味」として今も記憶に残っています。

さて、国内線全旅客の3割を占める九州路線は、ANAの重要な収益路線となっています。また、九州は訪日外国人の出入国者数が首都圏、関西圏に次いで多く、特に福岡空港において大きな伸びを示しています。

地理的にアジアに近く、観光資源が豊富な九州は、訪日旅客を更に増やすポテンシャルにあふれています。

ANAでは大幅に拡大した首都圏国際線と国内線の接続性を向上させ、九州への誘客を強化しています。将来的にはLCC（格安航空会社）を含め、九州発着国際線の展開を視野に入れていきたいと考えています。

創立100周年を契機に九州大学は「知の新世紀を拓く」を基本に「九大百年、躍進百大」を目標とした取り組みを進められています。九州で世界と渡り合える大学を作るためには、その地理的優位性を最大限生かし、成長著しいアジアにおける学術・知的拠点となる必要があり、また最先端のグローバル化の取り組みを推進する必要があると考えます。

アジア各国の言語を含む語学力訓練やアジアの主要大学との交流促進、グローバル企業への就職支援等の計画を徹底的に進め、日本のグローバル化をけん引すると同時に、総合大学の強みを生かした幅広い分野での産学連携や、九州とアジアの交流促進等を通じ、九州の活力創造にもぜひつなげていただきたいと思います。

九州大学のさらなる飛躍を期待しております。

国際・国内線の接続性を高め九州への誘客を強化

富士通社長
山本（やまもと）　正巳（まさみ）氏

研究実用化、産学連携をリード

私が九州大学工学部に入学したのは、沖縄が返還された1972年で、学生運動が激しさを増し、学園封鎖や試験の中止などもありました。留年する仲間も相次ぐ中で、無事4年で卒業できたのは、正直、努力よりも強運のおかげだと思っています。

富士通は九州にはR&Dセンターやシステム開発拠点を持っているほか、全県に営業拠点を置いています。富士通では社会的な課題の解決にICT（情報通信技術）を活用していきたいとの思いで農業分野に取り組んでいます。九州でも野菜の生産や畜産などで数々の実証実験を重ね、12年から本格的に農業向けのクラウドサービスをご提供しています。農業分野でのICT活用にはアジア各国も高い関心を寄せており、九州で培った私たちの経験が、アジア地域全体の農業のお役に立つ日がいずれ来るのではないかと期待しています。

九州大学とは、これまでもさまざまな分野で連携してきましたが、最近では、人の行動や心理に関して、社会科学的研究とビッグデータ活用を組み合わせて研究する部門を共同で設置しました。駅や商業施設などのインフラの改善や、マーケティングに応用可能と考えています。産業技術に関する数学研究の拠点を持つ九州大学だからこそ可能になりました。

ほかにも、今、燃料電池で注目が集まる水素の研究では世界のトップランナーで、特化した分野で異彩を放つ大学だと思っています。

これからは、あらゆる産業でオープンイノベーションが社会の活力や経済の活性化の鍵を握るため、産学の連携は一層重要になります。ぜひ、今の特色を生かし、学術研究にとどまらない、実用化を含めた産学連携をリードしていただきたいと思います。

九州で培った農業分野のICT活用を世界に展開

新事業創出のヒントがココにあります!!

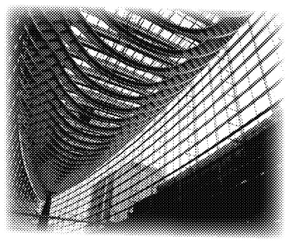
九州大学テクノロジーフォーラム2014

平成26年度文部科学省研究大学強化促進事業の一環で「九州大学テクノロジーフォーラム2014」を12月3日（水）東京国際フォーラムにて開催いたします。
本フォーラムでは、［環境・エネルギー・インフラ］［化学・材料］［ライフサイエンス］［基盤技術］［産業数学］の5分野で、本学74名の研究者による“技術シーズの発表”と“ポスターセッション”を行います。
新事業創出に向けて是非この機会をご活用ください。お申込みは、ホームページの申込みフォームよりお願いいたします。皆様のご来場をお待ちしております。

開催概要

◆日時・会場：2014年12月3日（水）東京国際フォーラム

〈セッションⅠ〉 9:20～16:00（ガラス棟4F/G404・G405・G407・G408）
［環境・エネルギー・インフラ］［化学・材料］［ライフサイエンス］［基盤技術］
研究者65名発表「新事業創出に向けての有望技術シーズ」
〈セッションⅡ〉 13:00～16:30（ホールD5）
［産業数学］
研究者9名発表「数学が拓く未来技術」
〈セッションⅢ〉 16:00～17:30（ガラス棟4F/G409）
研究者全員のポスターセッション16:00～17:30
〈受　　付〉 8:30～（ガラス棟4Fエレベーター横）



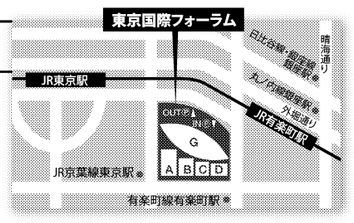
◆対　　象：どなたでもご参加いただけます　**◆参 加 費：**無料
◆定　　員：250名　**◆主　　催：**国立大学法人九州大学
◆講演テーマ・発表者・概要詳細
詳しくはコチラを　九大テクノロジー　検索

お申し込み先

こちらのアドレスから　http://imaq.kyushu-u.ac.jp/ja/seminar/
※お申し込みフォームの、ご要望・ご質問の欄に参加を希望されるセッション名の記入をお願いいたします。

会場のご案内

東京国際フォーラム ガラス棟会議室4階（G棟）
※受付はG棟4階エレベーター横
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号　代表電話：03-5221-9000
http://www.t-i-forum.co.jp/



お問い合わせ

九州大学テクノロジーフォーラム2014事務局
〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜3-8-34　産学官連携イノベーションプラザ
（九州大学産学官連携本部内　担当：古川・八田）
E-mail：techforum@imaq.kyushu-u.ac.jp　Phone 092-832-2125